



株式会社エイチーム

**決算説明資料 2018年7月期 Q1**

2017年12月8日

# Index

1. FY2018 Q1 連結決算概要
  2. FY2018 Q1 セグメント別事業詳説
  3. FY2018 Q2 進捗
  4. FY2018 業績・配当予想
  5. 中長期的な展望
- 
- APPENDIX A : 会社概要
  - APPENDIX B : 主な経営指標

# 1. FY2018 Q1 連結決算概要

2. FY2018 Q1 セグメント別事業詳説
3. FY2018 Q2 進捗
4. FY2018 業績・配当予想
5. 中長期的な展望

# FY2018 Q1 会計期間決算サマリー (2017.08-10)

## 全社

### Y/Y増収増益、Q/Qでは減収減益

- 売上高 : 8,904百万円 ( Y/Y 124.8%、Q/Q 94.6%)
- 営業利益 : 963百万円 ( Y/Y 328.4%、Q/Q 73.7%)
- 当期純利益 : 678百万円 ( Y/Y 490.9%、Q/Q 91.5%)

※親会社株主に帰属する当期純利益 (本頁以降同様)

## エンター テイン メント

### Y/Y増収増益、Q/Q減収減益

- セグメント売上 : 4,315百万円 ( Y/Y 105.5%、Q/Q 84.9%)
- セグメント利益 : 865百万円 ( Y/Y 286.3%、Q/Q 68.1%)

主にヴァルコネが振るわず、全体として減収減益傾向に

売上高構成比

**48.5%**

## ライフ スタイル サポート

### Y/Y、Q/Qともに増収増益

- セグメント売上 : 3,954百万円 ( Y/Y 149.1%、Q/Q 105.5%)
- セグメント利益 : 550百万円 ( Y/Y 148.9%、Q/Q 106.6%)

Y/Y、Q/Qともに好調に推移、Q/Qの季節要因の影響は限定的

売上高構成比

**44.4%**

## EC

### Y/Y、Q/Qともに増収

- セグメント売上 : 634百万円 ( Y/Y 161.2%、Q/Q 108.7%)
- セグメント利益 : -44百万円 ( Y/Y -、Q/Q -)

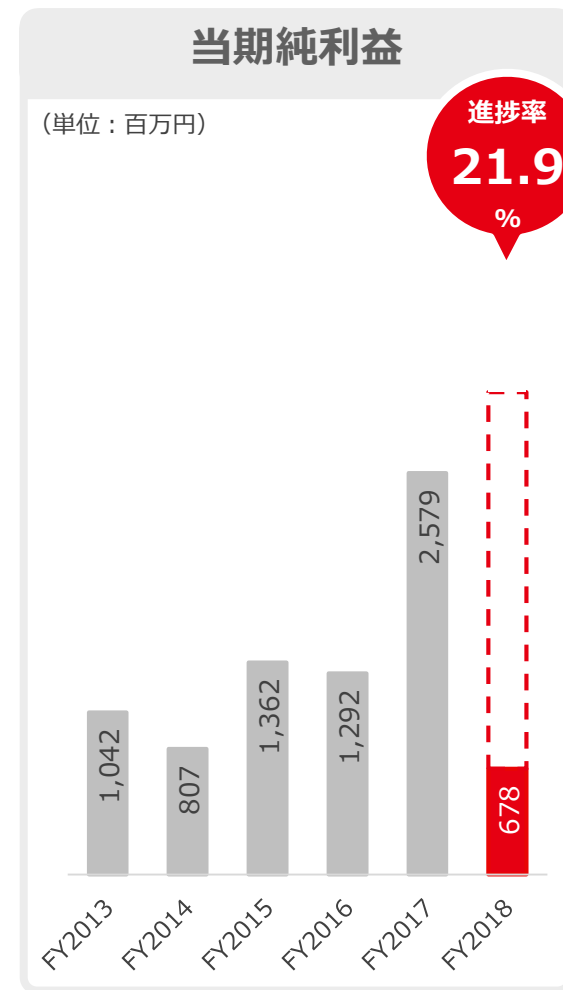
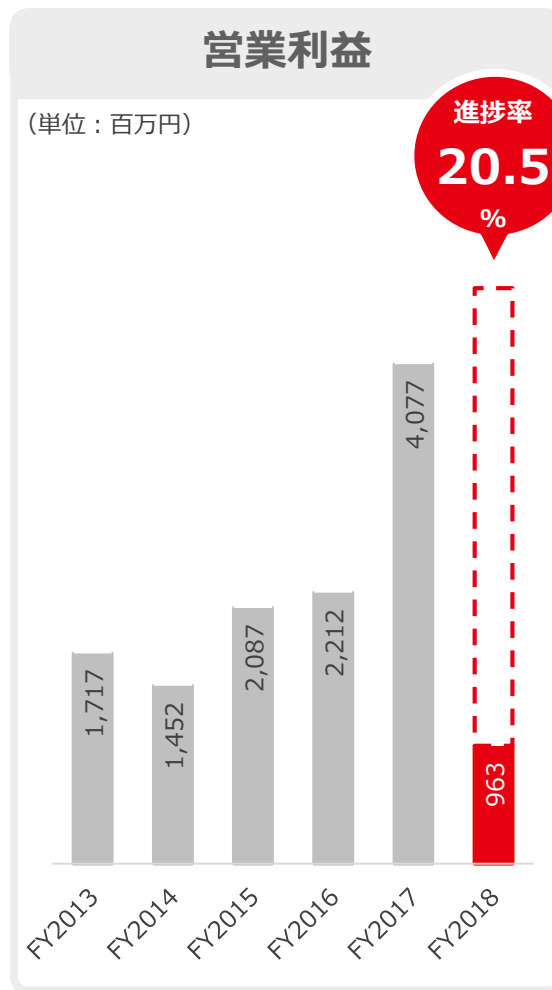
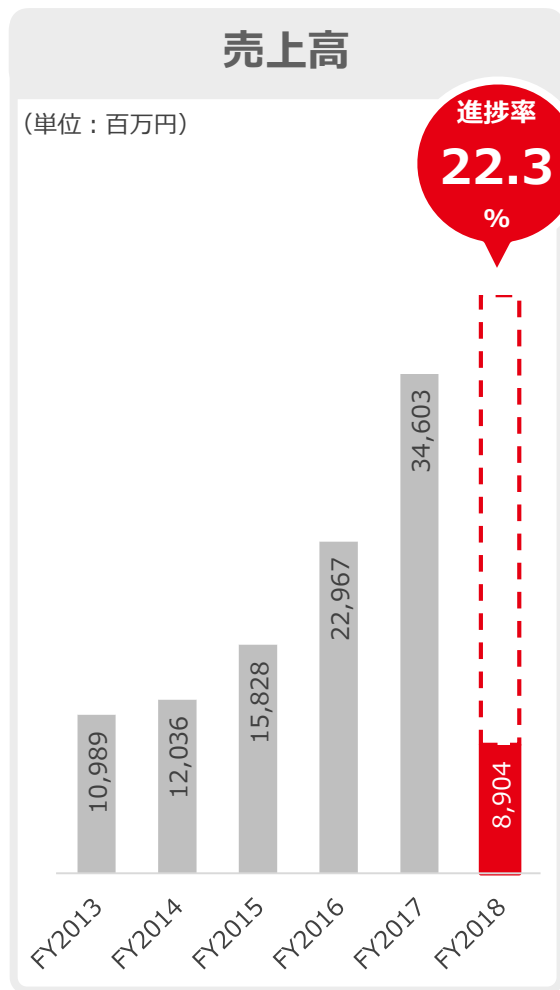
事業規模が順調に拡大し、Y/Yで大幅に成長

売上高構成比

**7.1%**

# 連結売上高・利益の推移及びFY2018業績予想に対する進捗率

(参考) 通期予想：売上高 400億円、営業利益 47億円、当期純利益 31億円



# FY2018 Q1業績概要

(単位：百万円)

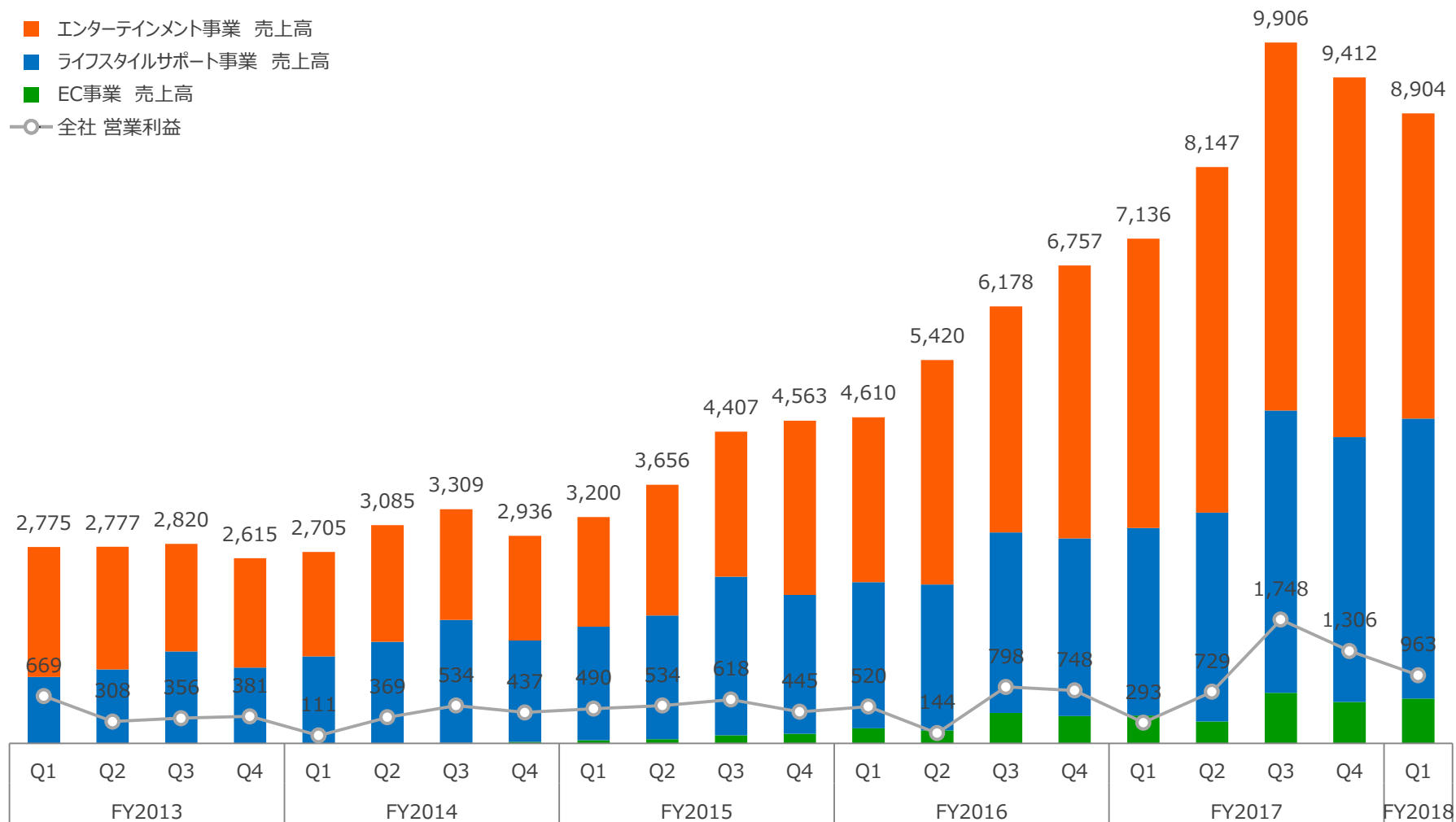
## FY2018 Q1 会計期間 (2017.08 - 10)

	FY2018		FY2017	Y/Y	FY2017	Q/Q	FY2018	進捗率 (対通期)	FY2018	進捗率 (対中間)
	Q1	%	Q1		Q4		通期予想		中間予想	
売上高	<b>8,904</b>	100.0%	7,136	<b>124.8%</b>	9,412	<b>94.6%</b>	40,000	22.3%	18,500	48.1%
営業利益	<b>963</b>	10.8%	293	<b>328.4%</b>	1,306	<b>73.7%</b>	4,700	20.5%	1,350	71.4%
経常利益	<b>980</b>	11.0%	292	<b>335.3%</b>	1,308	<b>74.9%</b>	4,700	20.9%	1,350	72.6%
当期 純利益	<b>678</b>	7.6%	138	<b>490.9%</b>	741	<b>91.5%</b>	3,100	21.9%	900	75.4%

# 連結四半期売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)

- エンターテインメント事業 売上高
- ライフスタイルサポート事業 売上高
- EC事業 売上高
- 全社 営業利益



※ ライフスタイルサポート事業の季節要因（引越し、自転車EC事業の繁忙期2-4月、自動車関連事業の繁忙期12-翌2月）により、例年Q3（2-4月）がピーク

# 主な経営指標の四半期推移

(単位：百万円)

	FY2015				FY2016				FY2017				FY18
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	3,200	3,656	4,407	4,563	4,610	5,420	6,178	6,757	7,136	8,147	9,906	9,412	<b>8,904</b>
営業利益	490	534	618	445	520	144	798	748	293	729	1,748	1,306	<b>963</b>
広告宣伝費	1,132	1,439	1,903	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623	3,410	<b>3,600</b>
人件費 採用費	684	682	695	736	745	805	814	884	872	935	931	1,066	<b>1,025</b>
キャリア手数料 支払手数料	484	559	671	869	841	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051	2,108	<b>1,588*</b>
外注費 サーバー費	162	190	197	235	257	267	275	235	254	297	315	331	<b>532*</b>
オフィス賃料	110	105	105	111	138	235	177	177	178	218	238	243	<b>249</b>
期末人員数 (人)	531	533	533	530	548	559	574	583	605	627	710	718	<b>723</b>

※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む

※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

※ 「支払手数料」、「外注費」の一部計上変更について：

ライフスタイルサポートの引越し関連事業で展開している引越し周辺サービス「エアコン取付け・取外し工事」等の外部委託費用について、FY2017までは「支払手数料」として計上したものの、取引に対する当社及び委託先の役割の変化を鑑み、「外注委託」に該当すると判断したため、FY2018より「外注費」として計上。FY2018 Q1計上変更対象額：185百万円



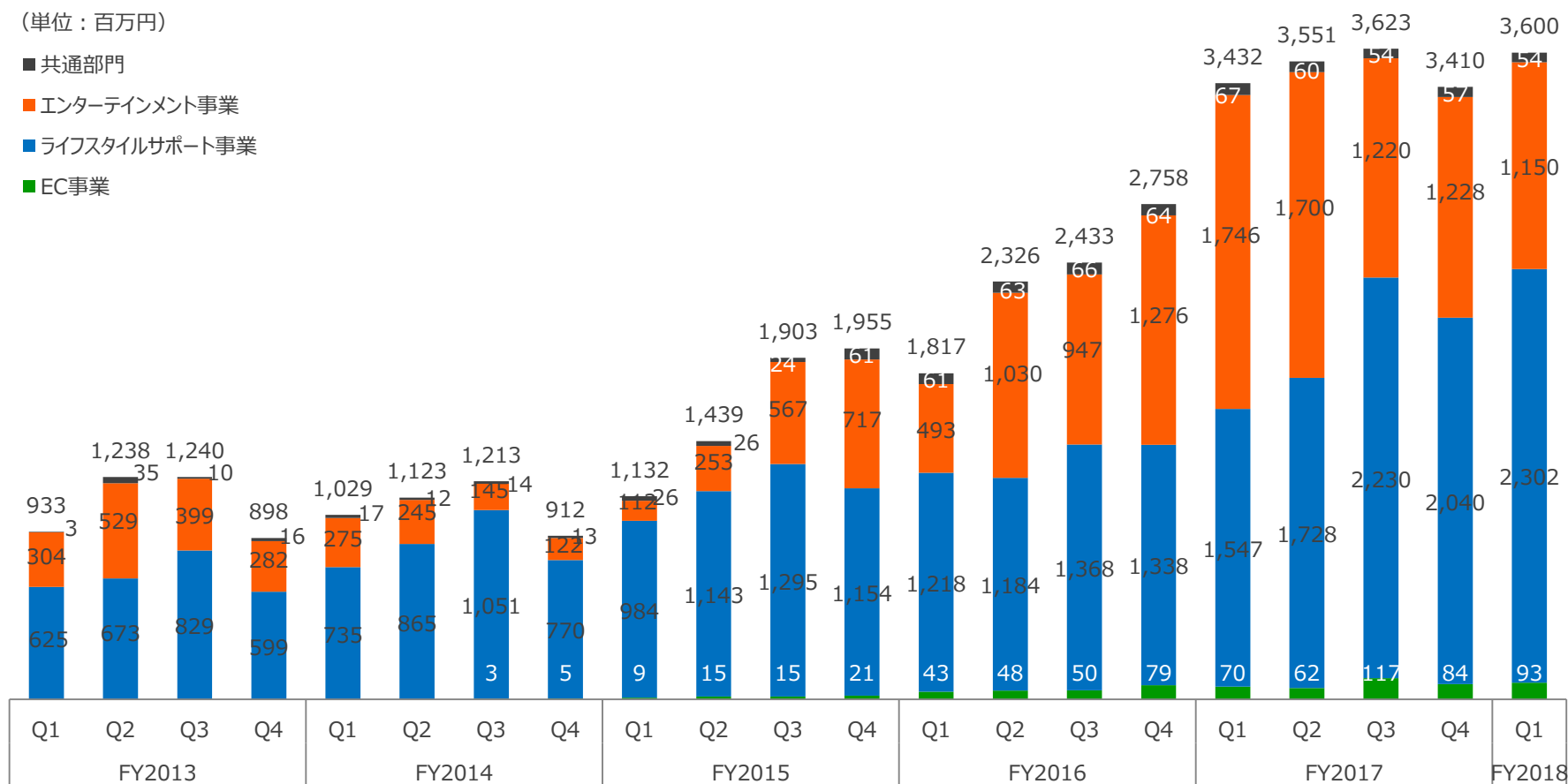
# セグメント別広告宣伝費の四半期推移

エンタメ：効率運用により、微減

ライフ：増収に伴う広宣費規模拡大に加え、金融メディアの新規サービス投入により、増加

(単位：百万円)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業

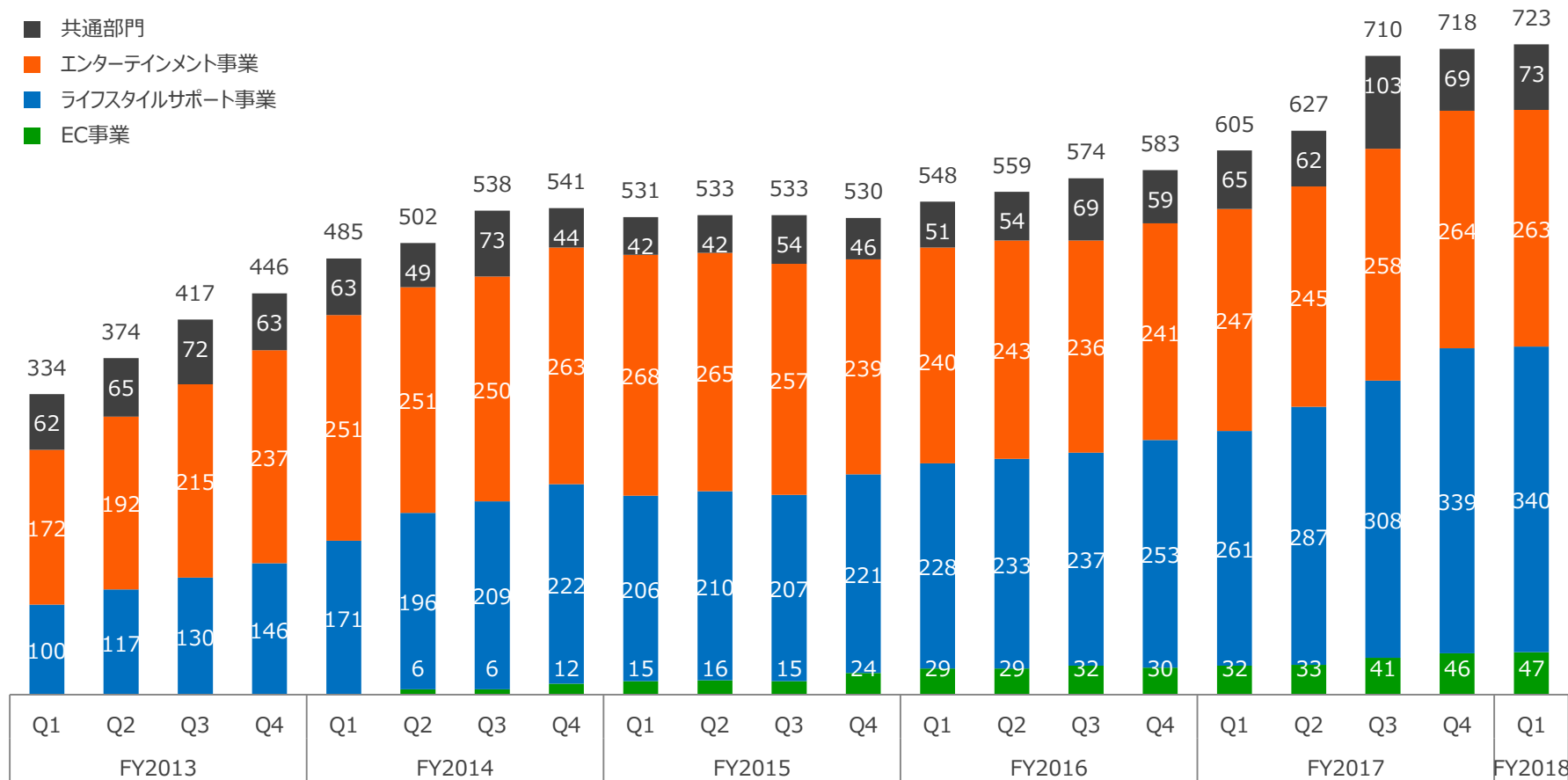


# セグメント別人員数の四半期推移

引き続き積極採用を行うも、採用競争激化により、人員が微増

(単位：人)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業



※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む  
 ※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

## 貸借対照表

第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権の一部行使により、株主資本が増加

- （2017年8月8日発表 第6回新株予約権）調達資金額：1,193百万円

（単位：百万円）

	FY2018 Q1	FY2017 Q4
流動資産	<b>10,226</b>	9,809
現預金	<b>5,556</b>	5,004
売掛金	<b>3,584</b>	3,774
固定資産	<b>3,392</b>	3,331
有形固定資産	<b>1,659</b>	1,666
無形固定資産 (ソフトウェア)	<b>576</b>	507
資産合計	<b>13,619</b>	13,140

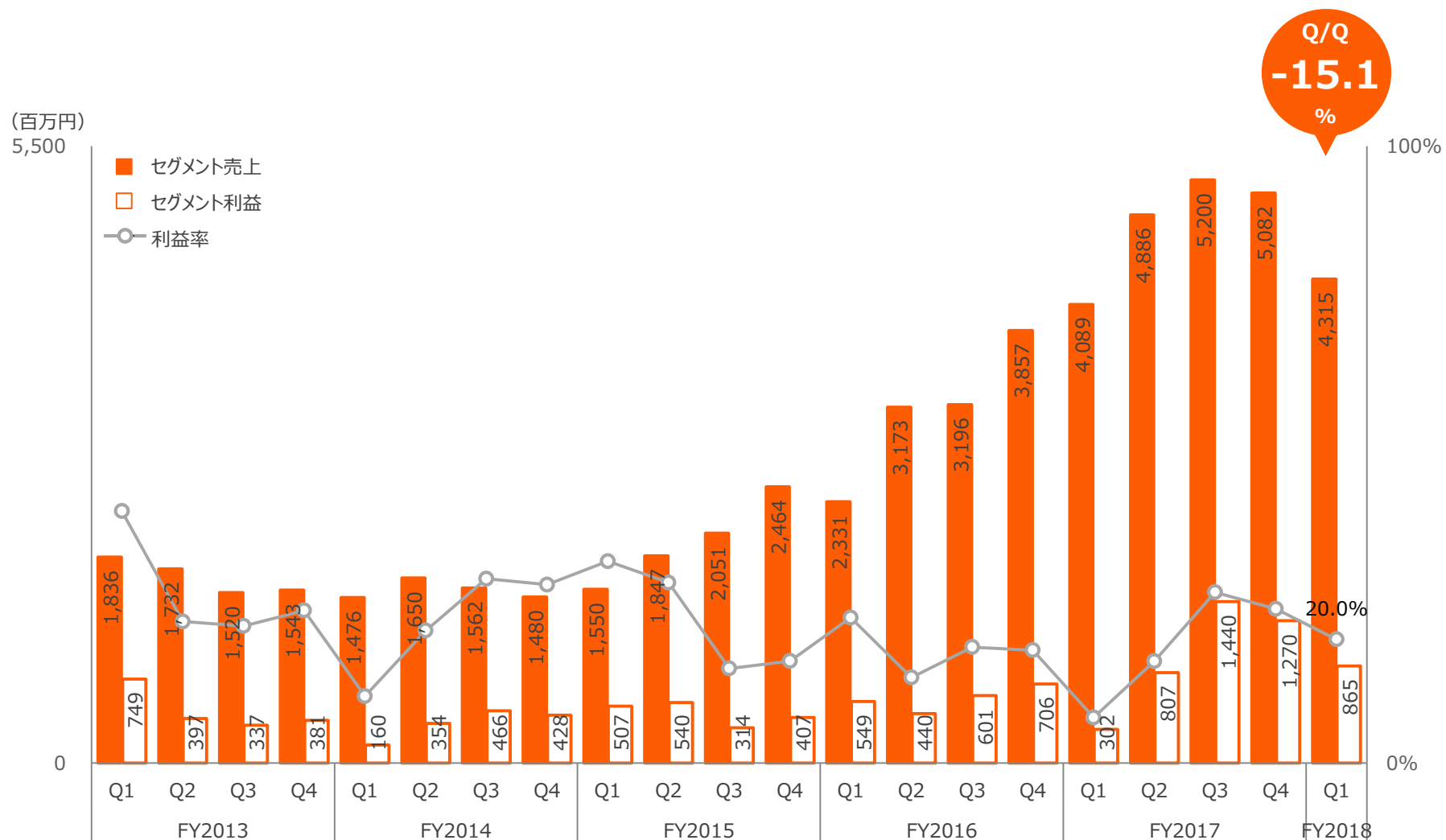
	FY2018 Q1	FY2017 Q4
流動負債	<b>4,160</b>	5,202
固定負債	<b>481</b>	481
負債合計	<b>4,642</b>	5,683
有利子負債	<b>586</b>	632
株主資本	<b>8,885</b>	7,361
純資産合計	<b>8,976</b>	7,456
負債純資産合計	<b>13,619</b>	13,140

## 2. FY2018 Q1 セグメント別事業詳説

- 3. FY2018 Q2 進捗
- 4. FY2018 業績・配当予想
- 5. 中長期的な展望

# エンターテインメント事業 四半期売上高・営業利益の推移

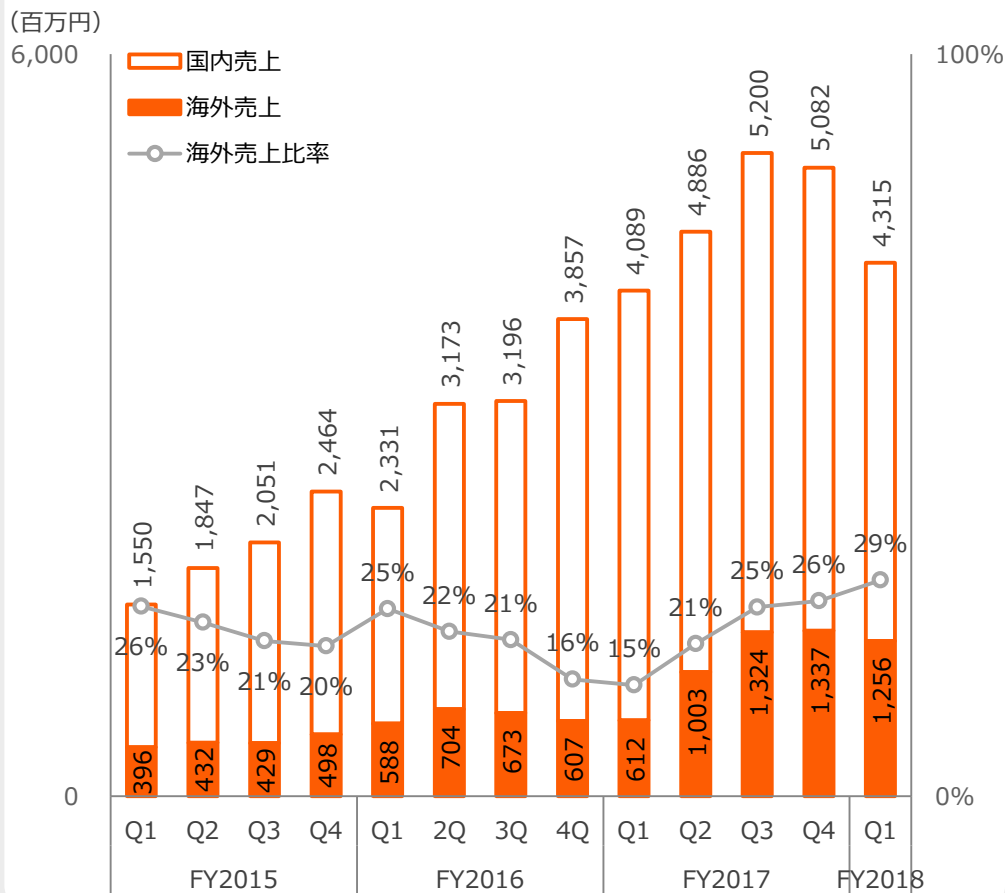
主にヴァルコネが振るわず、全体として減収減益傾向に



# エンターテインメント事業 海外売上比率の四半期推移

## 海外売上上の推移

### 海外売上比率過去最高

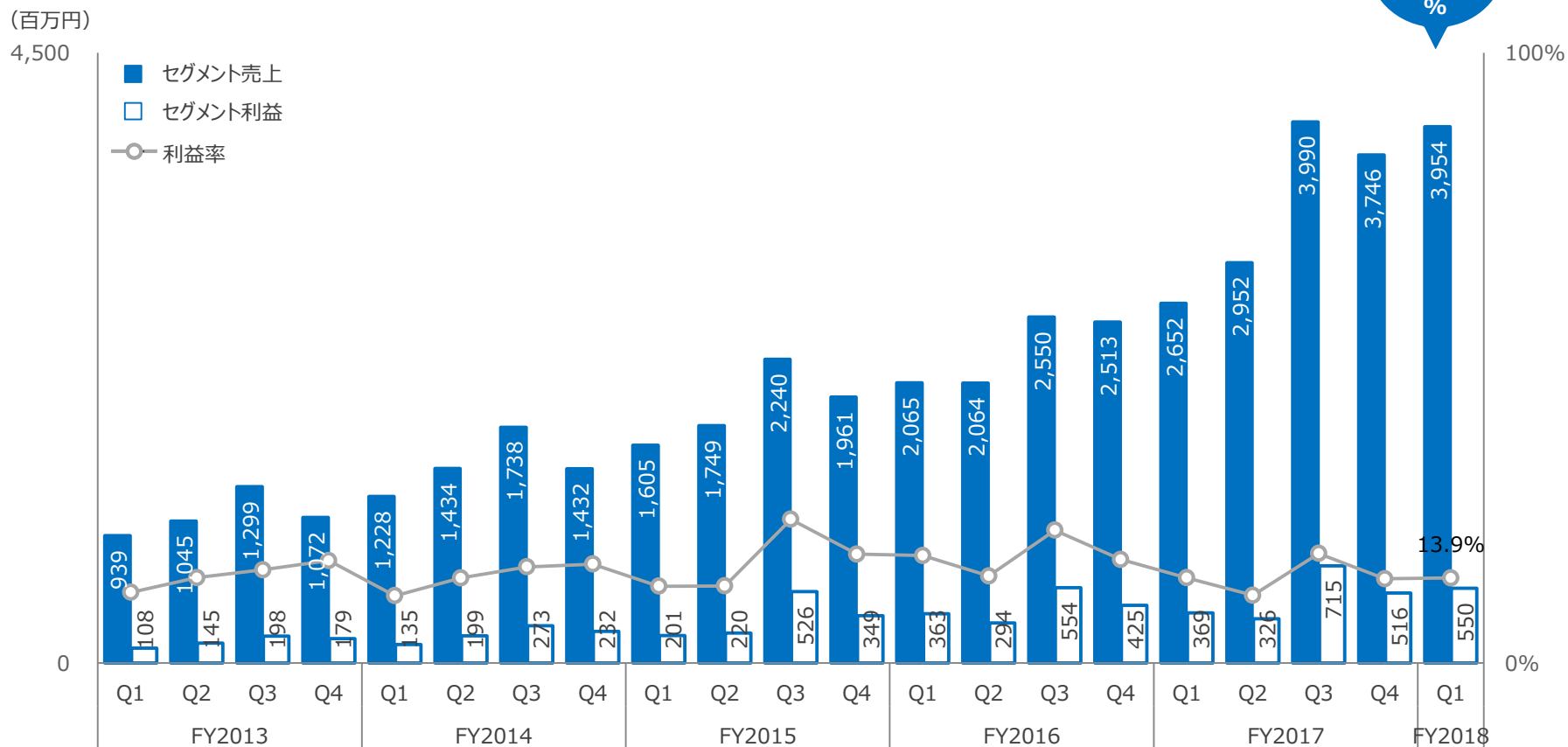


配信国・地域	日本	北米	ヨーロッパ圏	台湾/香港	韓国	東南アジア	中国本土
ヴァルコネ	●	●	●	●	●	●	準備中
ユニゾン	●	●	●	●	●	●	●
ダビパク	●			●		●	
さんすま	●			●			
レギオン	●	英語版					
サマナー	●	英語版					

# ライフスタイルサポート事業 四半期売上高・営業利益の推移

総じて好調に推移し、Y/Yで大幅に増収増益、Q/Q季節要因の影響は限定的

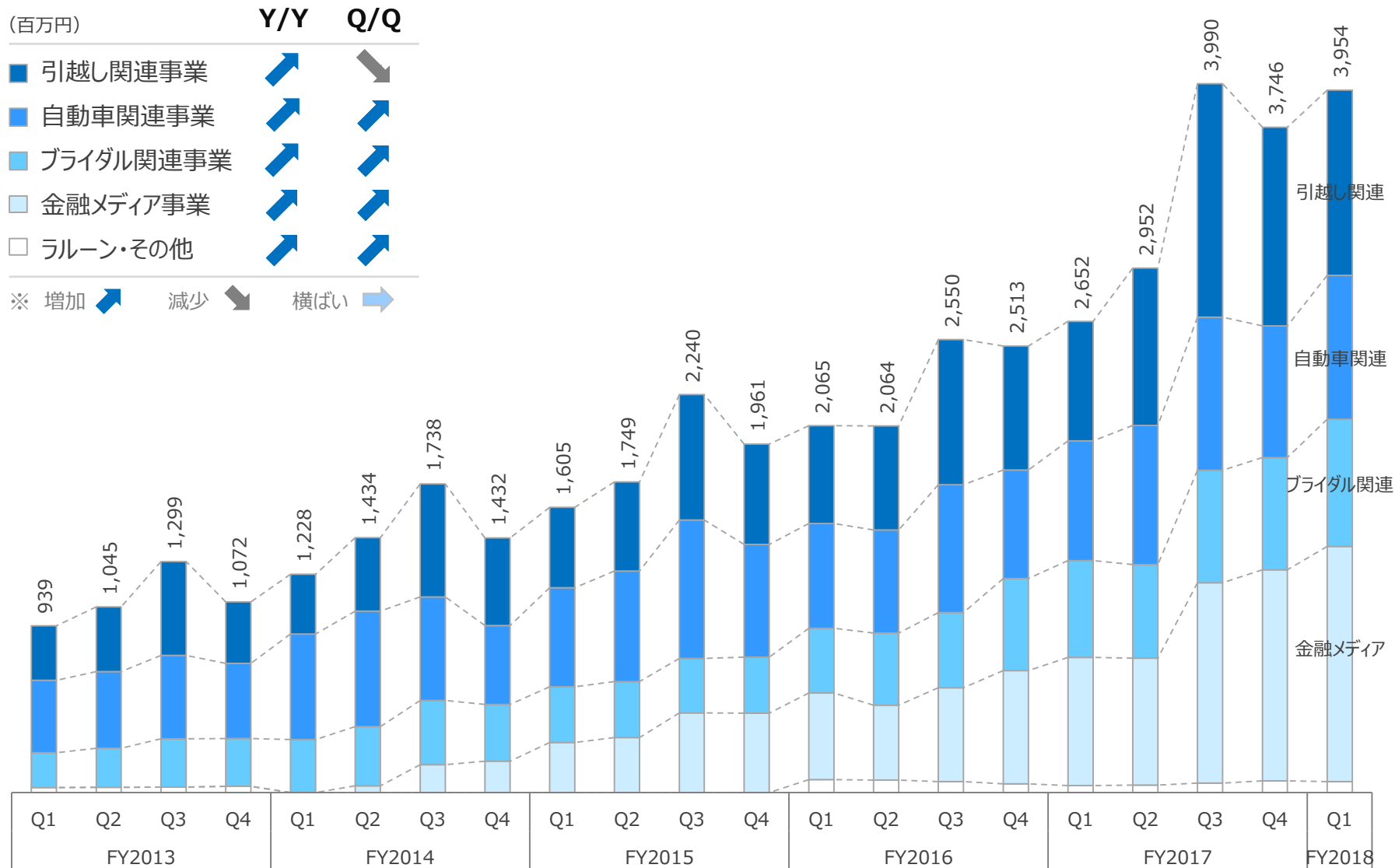
Y/Y  
**+49.1**  
%



※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ 本チャートでは、新セグメント区分に基づき、従来の「ライフスタイルサポート事業」から同資料17頁のEC事業の売上・利益を除いた数値を記載しています

# ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別四半期詳説



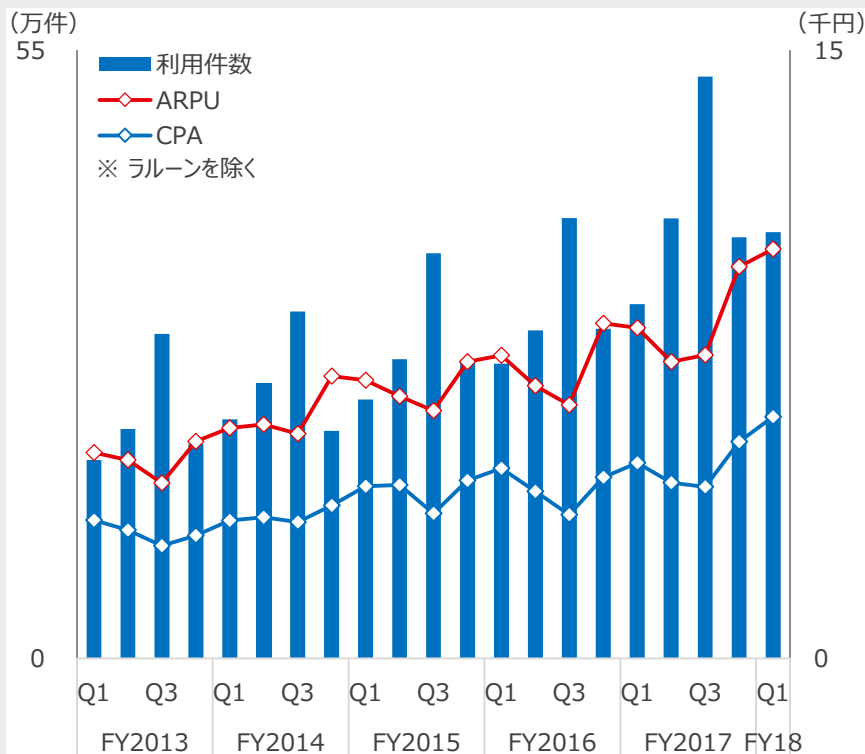


# ライフスタイルサポート事業 主なKPIの四半期推移

## 利用件数・ARPU・CPA

利用件数がY/Yで増加

ARPU、CPAは概ね例年と同様なトレンドで推移



- 【①利用件数】= 主要4事業の利用件数 (各サービスの利用件数のうち、売上が発生した件数) の合計 (※同一利用者が複数サービスを利用した場合、獲得コスト発生ベース)
- 【②ARPU: 利用者1人/組あたりの売上高】= セグメント売上 ÷ 【①利用件数】
- 【③CPA: 顧客獲得1人あたりの広告単価】= 広告宣伝費 ÷ 【①利用件数】

## 粗利額・粗利率

粗利額がY/Yで大幅に増加

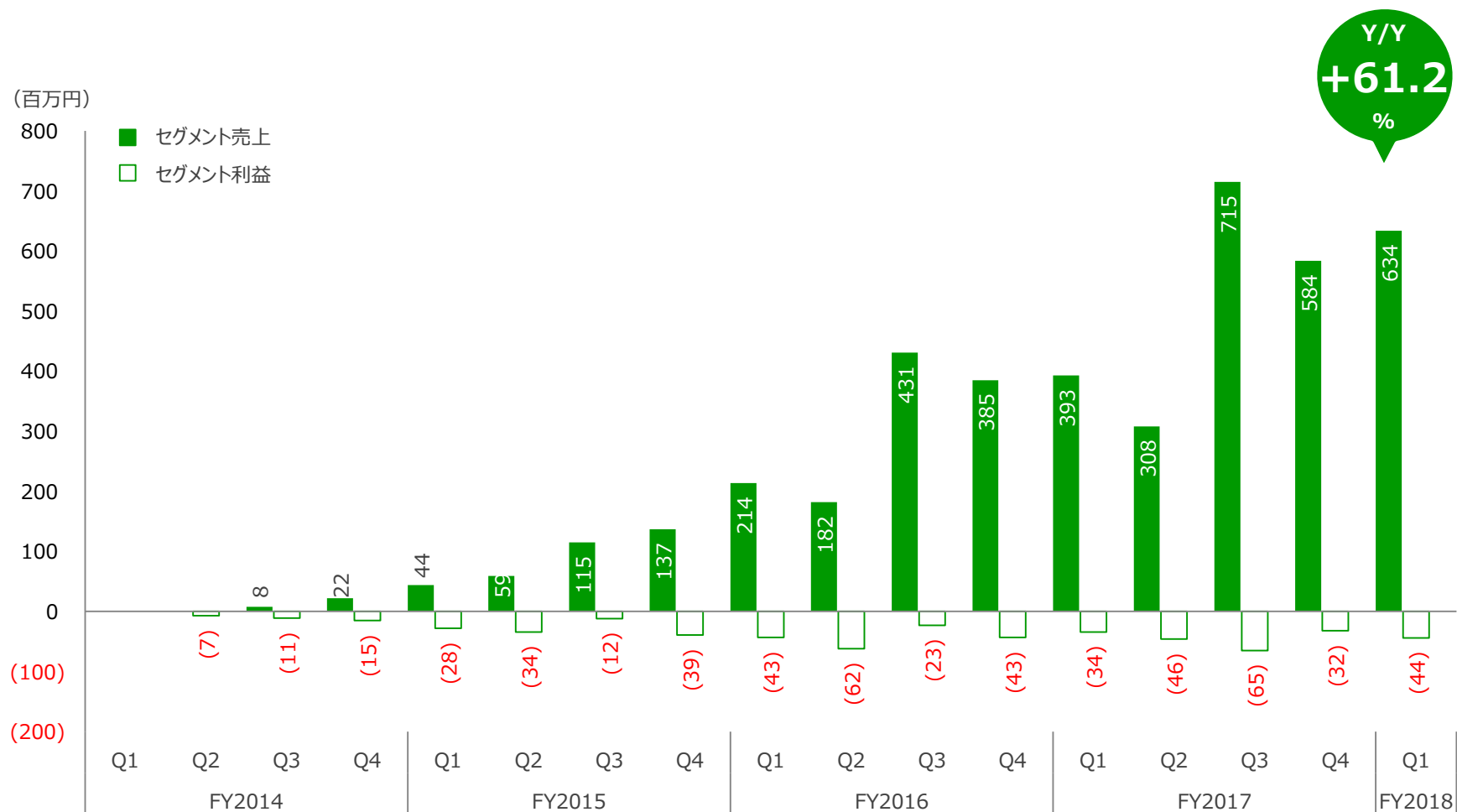
粗利率は30強~40%弱の水準で安定推移



- 【④粗利額】= セグメント売上 - (広告宣伝費 + 仕入原価)
- 【⑤粗利率】= 【④粗利額】 ÷ セグメント売上
- ※ 仕入原価等はGross計上分 (エアコン仕入原価、エアコン工事委託費、ハナユメ定額ウェディング原価、マシリング仕入原価、ハナユメフォト仕入原価) が対象

# EC事業 四半期売上高・営業利益の推移

事業が軌道に乗り、Y/Yで引き続き大幅増収、Q/Qでも増収



※ FY2017（2016年8月1日）より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ EC事業の自転車通販サイト「cyma -サイマ-」は2013年12月よりサービスを開始しております。繁忙期：3-4月（Q3）

# 3. FY2018 Q2 進捗

- 4. FY2018 業績・配当予想
- 5. 中長期的な展望

# セグメント別トピックス

## 全社

- 『TOYOTA NEXT』共同事業のテーマが概ね確定し、事業開発フェーズへ
- 福岡オフィスの開所が2月に延期、積極採用を継続中



## エンターテインメント

- ヴァルキリーコネクト**
  - ▶ Shanda社により中国本土への配信に向けて準備中
  - ▶ 11/27に全世界累計1,100万DLを突破
  - ▶ 11/22より人気対戦格闘ゲーム『ストリートファイター』とのコラボを実施
  - ▶ 10/28より初となる全国向けのTVCMを放映開始
- ユニゾンリーグ**
  - ▶ 11/8に全世界累計850万DLを突破！12/4でリリースから3周年
- 三国大戦スマッシュ！**
  - ▶ 11/17に人気TVアニメ『恋姫 + 夢想』シリーズとコラボを実施



## ライフスタイルサポート

- ブライダル関連事業**
  - ▶ **Hanayume** サービス名称変更から1年、利用組数が順調に増加
  - ▶ 10月末にハナユメウエディングデスク 新宿駅前店大規模リニューアルを実施
- 引越し関連事業**
  - ▶ 「引越し侍」人気ラジオCM最新作を投入



## 4. FY2018 業績・配当予想

5. 中長期的な展望

# FY2018 連結業績予想数値 (再掲)

(単位：百万円)

	FY2017 実績		FY2018 (2017.08-2018.07) 予想			
	中間実績	通期実績	中間予想	通期予想	通期構成比	通期Y/Y
売上高	15,283	34,603	<b>18,500</b>	<b>40,000</b>	100.0%	<b>115.6%</b>
エンターテインメント事業	8,976	19,259	<b>9,500</b>	<b>19,500</b>	48.8%	<b>101.3%</b>
ライフスタイルサポート事業	5,605	13,342	<b>8,000</b>	<b>18,000</b>	45.0%	<b>134.9%</b>
EC事業	702	2,001	<b>1,000</b>	<b>2,500</b>	6.3%	<b>124.9%</b>
営業利益	1,022	4,077	<b>1,350</b>	<b>4,700</b>	11.8%	<b>115.3%</b>
経常利益	1,071	4,118	<b>1,350</b>	<b>4,700</b>	11.8%	<b>114.1%</b>
当期純利益	676	2,579	<b>900</b>	<b>3,100</b>	7.8%	<b>120.2%</b>

※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」三つになりました。

## FY2018の取り組み及び業績予想の考え方（再掲）

### 全社

中長期的な成長に向け、引き続き人材の獲得・育成及び環境の整備・組織体制の構築に注力予定

- 福岡オフィス開設と同時に、採用強化を実施予定

### エンターテインメント

既存はY/Yで横ばい予想；新規は費用を十分織り込み、収益貢献は保守的に予想

- ヴァルキリーコネクト、ユニゾンリーグ等、既存の効率的な運用と成長余地のある海外での売上拡大に注力予定
- その他既存ゲームアプリは経過年数や足元のKPI推移を勘案しつつ、ゆるやかな減少を前提に、全体では横ばい
- リリース予定の新規（1～2本）は、リリース時のプロモーション費用を十分に織り込み、収益貢献は保守的に予想

### ライフスタイルサポート

各サービスの収益力、KPIを踏まえ、季節要因等想定可能な影響要因を加味して予想

- サブセグメント事業それぞれにおいて、利用者数の増加、利用者1人当たり売上高の向上ならびに利益率の向上を図りながら、サービス間の相互送客・継続顧客の獲得に注力予定
- 各サブセグメントの周辺サービスや新たな産業領域におけるサービスについては、現時点で想定可能な範囲内で企画・開発に必要な費用を織り込んで業績を予想

### EC

足元のKPIを踏まえ、季節要因等を加味しながら想定可能な範囲内で合理的に予想

- 引き続き組織基盤・体制を整えるための継続投資費用を十分に織り込む
- 収益貢献は足元のKPIを踏まえつつ、神戸物流拠点を軌道に乗せ、キャパシティ増大による売上拡大を見込み、季節要因等を加味しながら想定可能な範囲内で合理的に予想

## FY2018 配当予想（再掲）

今後も業績を勘案しつつ、通期配当性向20%前後の株主還元を継続予定

	FY2015 実績		FY2016 実績		FY2017 実績		FY2018予想
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	期末
基準日	01/31	07/31	01/31	07/31	01/31	<b>07/31</b>	<b>07/31</b>
配当実施日	04/03	10/13	04/04	10/07	04/04	<b>10/06</b>	<b>10月（予定）</b>
1株当たり 配当金	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	<b>22円 00銭</b>	<b>32円 50銭</b>
配当総額	238百万円		239百万円		<b>517百万円</b>		-
(通期) 配当性向	17.7%		18.2%		<b>19.8%</b>		<b>20%（予定）</b>

※配当実施方法につきましては、これまでに中間配当及び期末配当、年2回に分けて配当を実施してまいりましたが、当社が展開するビジネスの特性上、利益が下期偏重型となっており、通期業績をもって配当方針に沿った配当金額を決定すべく、FY2018より、年1回の期末配当のみとさせていただきます。



## FY2018 Q2以降の留意点

### 全社

上期売上は概ね予想通り、利益は予想対比で上振れ基調  
通期業績に対する影響要因は、エンタメの新規タイトルが主

- | 福岡オフィスの開所が2月に延期、業績への影響は軽微

### エンター テイン メント

新規タイトルのリリースが下期に延期；上期利益が予想対比で上振れ着地となる見込み

- | 上期に予定していた新規タイトルのリリース延期に伴い、上期に織り込んだ先行投資費用も下期にずれ込む見込み
- | ヴァルコネのTVCM、ユニゾンの3周年記念イベント等により、Q2のエンタメ広告宣伝費がQ/Qで増加となる見込み

### ライフ スタイル サポート

Q1進捗は予想対比で上振れ；業績推移のトレンドは例年同様；新規への投資を継続

- | Q1はサブセグメント事業総じて好調、Q2以降は例年通りのトレンドで推移すると推定
- | 金融メディアの新規サービス「ナビナビクレジットカード」「ナビナビ住宅ローン」「ナビナビFX」に加え、通信費・家計見直しサイト「Soldi (ソルディ)」を運営；さらに既存5サブセグメント以外の事業領域で新規サービスを開拓中

### EC

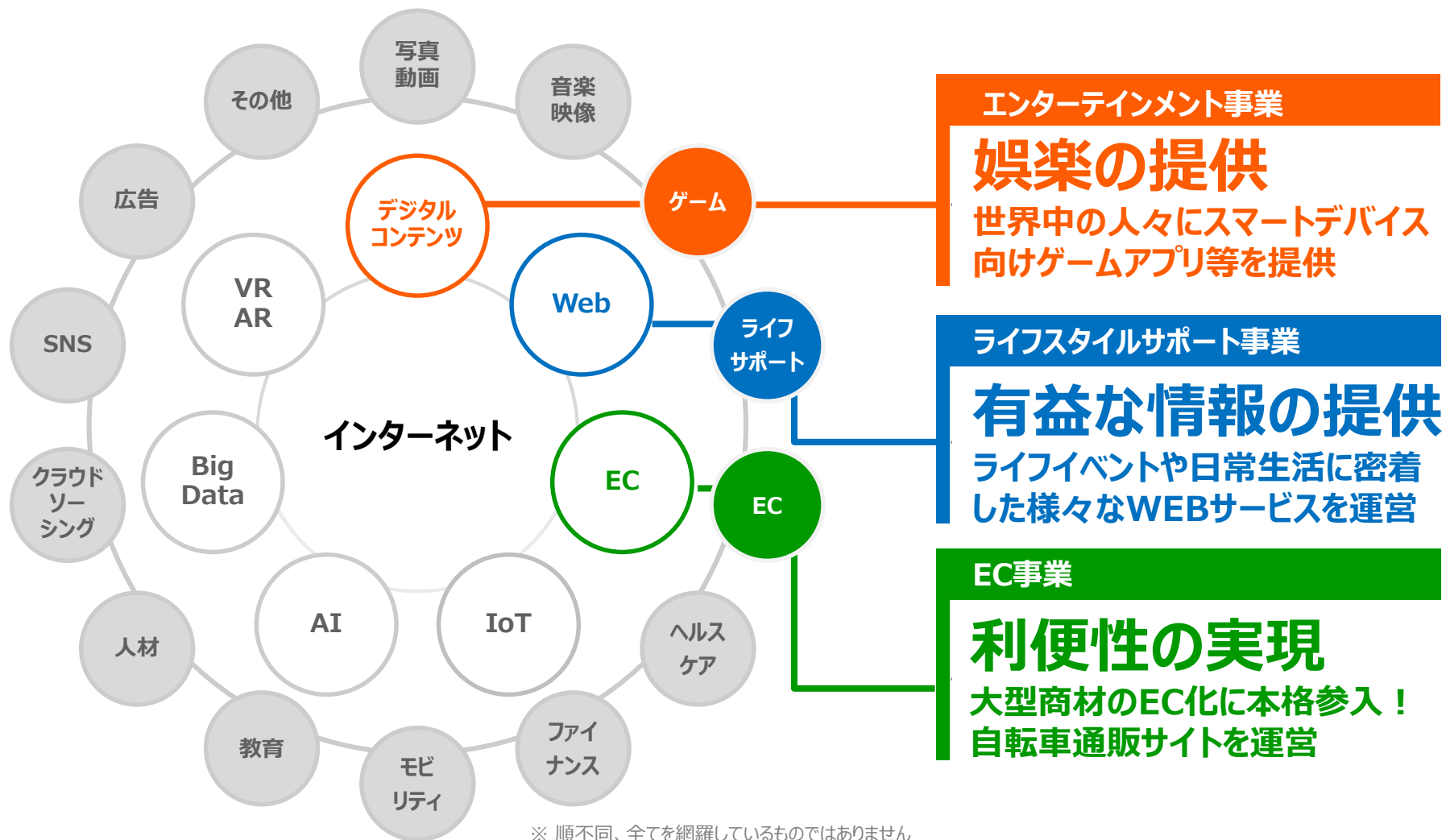
Q1進捗は予想対比で上振れ；例年同様Q2は閑散期のため、Q/Qでは減収見込み

- | 過去のトレンド同様、Q2（11月～1月、寒季）は自転車販売において閑散期となるため、Q/Qで減収となる見込み
- | 引き続き組織基盤・体制を整え、Q3繁忙期にはブランディングのための広告投資を実施予定

## 5. 中長期的な展望

# エイチームの目指す姿

今後もインターネットを使った様々なビジネス領域に挑戦し続けます！



## 事業の展望（数字を約束するものではありません）

### 全社

既存の三つの事業軸を基本としながらも、枠にとらわれず、様々な事業にチャレンジし、新たな収益源を創出します

### エンターテインメント

- | 日本で企画・開発・運営、世界中に人々に娯楽を提供
  - 北米だけでなく、欧州市場、さらにアジア圏を狙う
- | 全世界に向けて月商10億円規模のアプリを複数創出
  - 英語版を中心に海外売上比率50%強を目指す

### ライフスタイルサポート

- | 既存のメイン4サービスそれぞれ年商50億円規模に
  - 4サービスの合計で年商200億円～300億円規模をイメージ
- | 有益な情報を提供し、生活をより豊かに、より便利にするサービスを順次開拓

### EC

- | 自転車通販No.1サイトを目指す
  - 2020年までに国内自転車販売台数の3%を目指す
- | まだEC化が進んでいない商材へ挑戦

## M&A及びベンチャー投資の方針

### ミッション

『エイチームの目指す姿』につなげる、資本を活用した中長期的成長の実現ならびに企業価値向上の加速

### M & A

- 既存事業の競争力強化につながると想定される企業や事業

  - エンターテインメント：（例）ユーザーを獲得・確保するための国内外のメディア等
  - ライフスタイルサポート：（例）シェア拡大やシナジーが見込まれる事業、関連メディア等
  - EC：（例）自転車に限らず、国内外における他の商材EC等
- 自社で容易に参入できない、或いは参入に時間のかかる事業を持つ企業

### ベンチャー投資

- エイチームが参入するには不確実性が高いものの、将来的にみて魅力度が高い事業ドメインや技術を持つ未上場ベンチャー企業への出資
- エイチームの既存ノウハウを活かすことにより、大きな成長が見込まれる事業を展開する未上場ベンチャー企業への出資及び業務提携

# APPENDIX A

## 会社概要

# 会社概要 (2017年11月30日現在)

商号	株式会社エイチーム
証券コード	東証1部 3662
設立	2000年2月29日
本社所在地	名古屋ビルヂング32F
代表取締役社長	林 高生
業種	情報・通信
セクター	ゲーム・インターネット・EC
決算期	7月末
連結子会社数	5社 (国内4社、海外1社)
連結人員数	681名 (役員、アルバイトを除く)
単元株式数	100株



名古屋ビルヂング



本社受付



梅田阪急ビル



品川イーストタワー

## 代表取締役社長の略歴



1971.12.18

岐阜県土岐市に生まれる

1982.12

コンピュータープログラミング 開始

1987.3

多治見市立多治見中学校 卒業

1987.4 ~

学習塾経営・さまざまなアルバイト

1997.6

個人事業として「エイチーム」創業

2000.02.29

有限会社エイチーム 設立

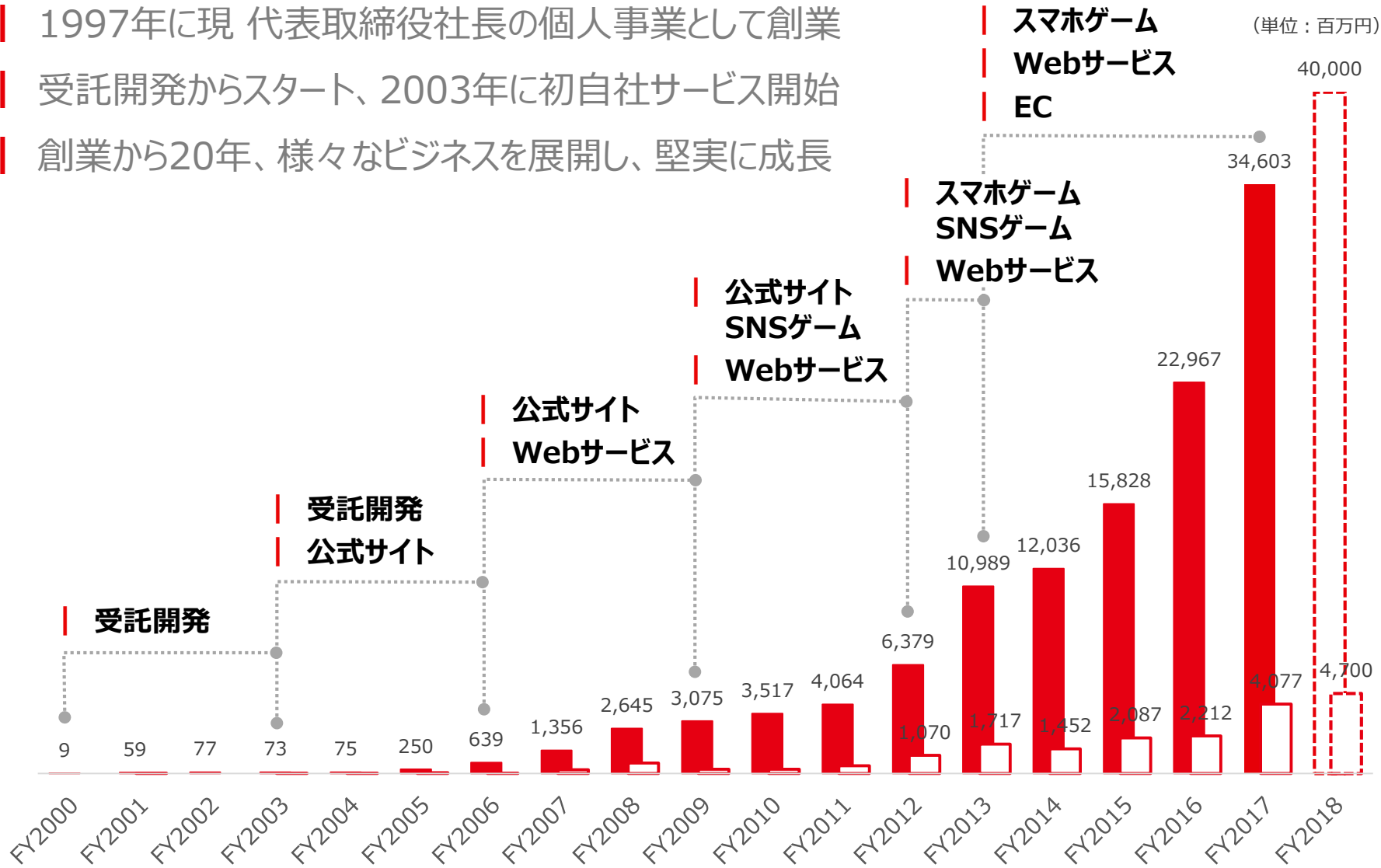
2004.11.01

株式会社エイチームに組織変更



# 沿革

1997年に現 代表取締役社長の個人事業として創業  
 受託開発からスタート、2003年に初自社サービス開始  
 創業から20年、様々なビジネスを展開し、堅実に成長



# エイチームのビジネス

インターネットやスマートデバイスを通じて利用者の皆様に様々なサービスを提供



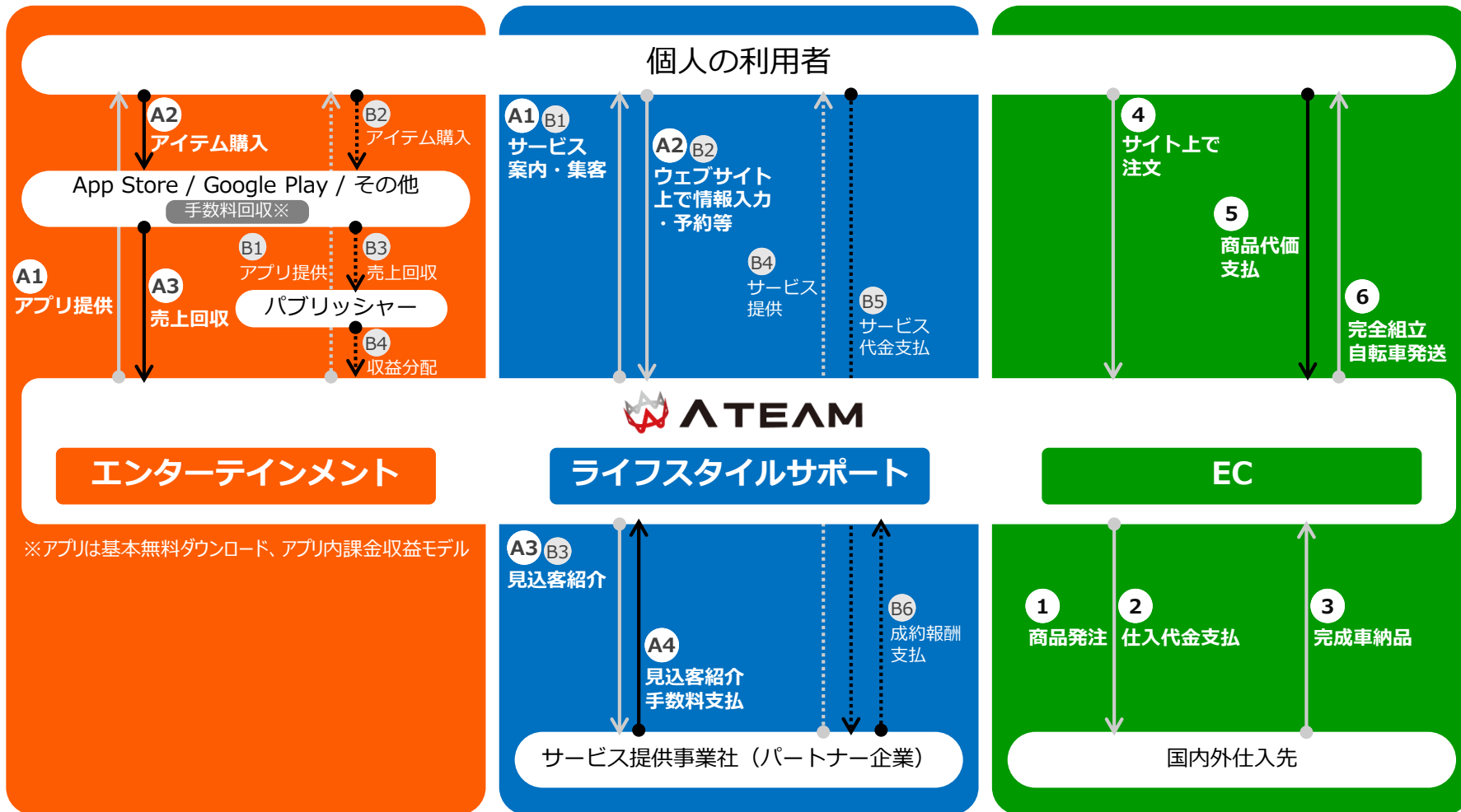
# ビジネスモデル

Ⓐ …… メイン収益のビジネスモデル (実線矢印)

Ⓑ …… サブ収益のビジネスモデル (点線矢印)

⇄ …… 商流

⇄ …… 金流



※アプリは基本無料ダウンロード、アプリ内課金収益モデル

手数料 …… App Store及びGoogle Play等、アプリ配信専用プラットフォーム運営者への支払手数料。アプリ内課金収益から手数料差引後入金。売上はグロス計上

# エンターテインメント事業 主要ゲーム&ツールアプリ

## Game Apps

### ミッドコア RPG (ロールプレイングゲーム)



ヴァルキリーコネクト



ユニゾンリーグ



レギオンウォー



ダークサマナー



三国大戦スマッシュ!

### アクション

### シミュレーション



ダービーインパクト

### パズル



ポンゴコンボ

### 麻雀



麻雀 雷神 - Rising -

### 公式サイト



エターナルゾーン



ミリオンヴァーサス

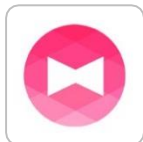
## Tool Apps

### SNS



ジャム

### スマホ着せ替え



[+]HOME

### ZeroApp シリーズ (無料で使える便利ツール)



快眠サイクル  
時計



楽々  
カロリー管理



アイトレ3D



3分  
フィットネス



さくさく  
英単語



きせかえ  
ミラー

# ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別主要サービス

## 引越し 関連事業



引越し比較・予約サイト

- 一度の入力で最大10社の引越し業者から見積を取得
- 提携引越し業者数は全国250社以上
- 業界シェアトップ、引越し周辺サービスも多数展開

## 自動車 関連事業



車査定・車買取サイト

- 一度の入力で最大10社の買取り業者から見積を取得
- 厳正な基準を満たした一流業者と提携
- 業界シェアトップ

## ブライダル 関連事業



結婚式場情報サイト

- 全国500以上の結婚式場から会場をご紹介
- プロのアドバイザーが常駐する実店舗を全国12店舗展開
- 「ハナユメ定額ウエディング」、「ハナユメPhoto」等も展開

## 金融 メディア 事業



キャッシング・カードローン  
総合検索サイト

- 厳選した大手銀行、消費者金融のサービスを徹底比較
- 「ナビナビキャッシング」に加え、「ナビナビクレジットカード」「ナビナビ住宅ローン」「ナビナビFX」を展開

## ヘルスケア 事業



女性向け生理日予測  
・体調管理アプリ

- 無料で生理日・排卵日が予測できるスマホアプリ
- わかりやすいグラフで基礎体温や体重も楽々管理
- 生理・妊娠・避妊から美容・健康まで匿名で相談も可能

# EC事業

## 自転車 EC

**cyma** -サイマ-  
life & discovery

自転車通販サイト  
「サイマ」

- 取扱い自転車200種類以上
- 専属整備士が整備、すぐに乗れる状態で自宅まで配送
- 日本最大級の自転車通販サイト



**cyma** -サイマ-  
life & discovery



さらに → **全品国内整備**  
国内自社整備工場からお届け

資格を持つ  
**整備士**  
による組立・品質チェック

自転車全品  
**送料無料**  
ご自宅までお届け致します

**店舗以上の安心を**  
1年間のパンク修理保証&ロードサービスつき

全国の自転車店で受けられる**パンク修理保証**つき!  
【お家でパンクCARE (ケア)】

4つの修理を保証します

パンク修理 (チューブ・タイヤ交換含む)	ブレーキ修理
チェーン修理	異音の解決

すべて自社整備工場からお届けしています

常時10000台以上の自社在庫を保有  
**だから価格もお買い得!**



# 取締役



中内 之公

取締役

エンターテインメント事業本部長



熊澤 博之

取締役

ライフスタイルサポート事業本部長



牧野 隆広

取締役



加藤 淳也

社外取締役

## グループ会社 社長

兼任

Ateam Vietnam Co., Ltd.  
President

兼任

株式会社エイチーム引越し侍  
代表取締役社長

株式会社エイチームコネク  
代表取締役社長



間瀬 文雄

株式会社エイチームライフスタイル  
代表取締役社長



大崎 恵理子

株式会社エイチームブライズ  
代表取締役社長

# APPENDIX B

## 主な経営指標



# P/L (FY2016 Q1 - FY2018 Q1)

(単位：百万円)

	FY2016				FY2017				FY2018
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
<b>売上高</b>	<b>4,610</b>	<b>5,420</b>	<b>6,178</b>	<b>6,757</b>	<b>7,136</b>	<b>8,147</b>	<b>9,906</b>	<b>9,412</b>	<b>8,904</b>
Q/Q 増減率 (%)	+1.0	+17.6	+14.0	+9.4	+5.6	+14.2	+21.6	-5.0	-5.4
エンターテインメント事業	2,331	3,173	3,196	3,857	4,089	4,886	5,200	5,082	4,315
ライフスタイルサポート事業	2,065	2,064	2,550	2,513	2,652	2,952	3,990	3,746	3,954
EC事業	214	182	431	385	393	308	715	584	634
売上原価	763	825	987	1,038	1,105	1,221	1,671	1,671	1,476
原価率 (%)	16.6	15.2	16.0	15.4	15.5	15.0	17.0	17.8	16.6
販売管理費	3,326	4,450	4,392	4,969	5,737	6,196	6,486	6,434	6,464
販売管理費率 (%)	72.1	82.1	71.1	73.6	80.4	76.1	65.3	68.4	72.6
費用総額 (売上原価+販売管理費)	4,089	5,276	5,380	6,008	6,843	7,417	8,158	8,105	7,940
人件費・採用費	745	805	814	884	872	935	931	1,066	1,025
広告宣伝費	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623	3,410	3,600
広告宣伝費率 (%)	39.4	42.9	39.4	40.8	48.1	43.6	36.6	36.2	40.4
エンターテインメント事業	493	1,030	947	1,276	1,746	1,700	1,220	1,228	1,150
ライフスタイルサポート事業	1,218	1,184	1,368	1,338	1,547	1,728	2,230	2,040	2,302
EC事業	43	48	50	79	70	62	117	84	93
支払手数料等	841	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051	2,018	1,588
外注・サーバー費	257	267	275	235	254	297	315	331	532
オフィス賃料	138	235	177	177	178	218	238	243	249
その他費用	289	470	501	551	636	634	997	1,034	945
<b>営業利益</b>	<b>520</b>	<b>144</b>	<b>798</b>	<b>748</b>	<b>293</b>	<b>729</b>	<b>1,748</b>	<b>1,306</b>	<b>963</b>
Q/Q 増減率 (%)	+17.0	-72.2	+452.0	-6.3	-60.8	+148.5	+139.7	-25.3	-26.3
エンターテインメント事業	549	440	601	706	302	807	1,440	1,270	865
ライフスタイルサポート事業	363	294	554	425	369	326	715	516	550
EC事業	-43	-62	-23	-43	-34	-46	-65	-32	-44
営業利益率 (%)	11.3	2.7	12.9	11.1	4.1	9.0	17.6	13.9	10.8
経常利益	493	112	751	736	292	778	1,738	1,308	980
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>291</b>	<b>17</b>	<b>479</b>	<b>504</b>	<b>138</b>	<b>537</b>	<b>1,162</b>	<b>741</b>	<b>678</b>

# P/L (FY2012 - FY2017)

(単位：百万円)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	Y/Y (%)
<b>売上高</b>	<b>6,379</b>	<b>10,989</b>	<b>12,036</b>	<b>15,828</b>	<b>22,967</b>	<b>34,603</b>	<b>+50.7</b>
Y/Y 増減率 (%)	57.0	72.3	9.5	31.5	45.1	50.7	-
エンターテインメント事業	3,278	6,632	6,169	7,914	12,559	19,259	+53.3
ライフスタイルサポート事業	3,100	4,357	5,834	7,557	9,193	13,342	+45.1
EC事業	0	0	32	356	1,214	2,001	+64.7
売上原価	927	1,392	2,132	2,389	3,615	5,669	+56.8
原価率 (%)	14.5	12.7	17.7	15.1	15.7	16.4	+0.7
販売管理費	4,381	7,880	8,451	11,351	17,139	24,855	+45.0
販売管理費率 (%)	68.7	71.7	70.2	71.7	74.6	71.8	-2.8
費用総額 (売上原価+販売管理費)	5,309	9,272	10,583	13,740	20,755	30,525	+47.1
人件費・採用費	1,540	2,083	2,638	2,798	3,250	3,807	+17.1
広告宣伝費	2,331	4,310	4,279	6,430	9,335	14,018	+50.2
広告宣伝費率 (%)	36.5	39.2	35.6	40.6	40.6	40.5	-0.1
エンターテインメント事業	399	1,571	789	1,651	3,748	5,895	+57.3
ライフスタイルサポート事業	1,914	2,673	3,422	4,578	5,109	7,547	+47.7
EC事業	0	0	8	61	221	335	+51.6
支払手数料等	624	1,600	1,737	2,586	4,592	7,318	+77.2
外注・サーバー費	250	528	826	785	1,035	1,198	+15.8
オフィス賃料	190	337	420	433	728	879	+20.7
その他 (費用総額-上記費用)	371	411	682	706	3,340	3,303	-1.1
<b>営業利益</b>	<b>1,070</b>	<b>1,717</b>	<b>1,452</b>	<b>2,087</b>	<b>2,212</b>	<b>4,077</b>	<b>+84.3</b>
Y/Y 増減率 (%)	138.5	60.4	-15.4	43.8	6.0	84.3	-
エンターテインメント事業	1,126	1,866	1,409	1,770	2,297	3,820	+66.3
ライフスタイルサポート事業	539	632	840	1,298	1,637	1,929	+17.8
EC事業	0	0	-34	-115	-172	-178	+3.6
営業利益率 (%)	16.8	15.6	12.1	13.2	9.6	11.8	+2.2
経常利益	1,047	1,718	1,470	2,164	2,094	4,118	+96.6
税引前当期純利益	1,008	1,688	1,364	2,091	1,858	3,854	+107.4
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>590</b>	<b>1,042</b>	<b>807</b>	<b>1,362</b>	<b>1,292</b>	<b>2,579</b>	<b>+99.6</b>

# B/S (FY2012 - FY2017)

(単位：百万円)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
<b>資産の部</b>						
流動資産	2,709	3,760	4,034	6,334	6,918	9,809
現預金	1,339	1,944	2,217	3,097	3,505	5,004
固定資産	443	881	1,470	1,322	2,668	3,331
有形固定資産	45	102	120	125	1,321	1,666
無形固定資産	120	410	355	460	622	507
投資その他の資産	277	367	994	736	724	1,157
<b>資産合計</b>	<b>3,153</b>	<b>4,641</b>	<b>5,504</b>	<b>7,656</b>	<b>9,586</b>	<b>13,140</b>
<b>負債の部</b>						
流動負債	1,153	1,136	1,305	3,648	4,127	5,202
固定負債	0	0	0	0	387	481
<b>負債合計</b>	<b>1,153</b>	<b>1,136</b>	<b>1,305</b>	<b>3,648</b>	<b>4,514</b>	<b>5,683</b>
有利子負債	100	0	0	1,700	1,166	632
<b>純資産の部</b>						
株主資本	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971	7,361
自己株式	0	0	0	-1,403	-1,222	-1,177
新株予約権	0	5	67	108	100	96
<b>純資産合計</b>	<b>1,999</b>	<b>3,505</b>	<b>4,198</b>	<b>4,008</b>	<b>5,072</b>	<b>7,456</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,153</b>	<b>4,641</b>	<b>5,504</b>	<b>7,656</b>	<b>9,586</b>	<b>13,140</b>

## その他経営指標 (FY2012- FY2017)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
発行済株式総数 (株)	18,393,000	19,195,000	19,349,200	19,405,600	19,450,000	19,469,800
自己株式数 (株)	0	0	0	580,020	302,562	302,562
期中平均株式数 (株)	16,882,352	18,933,262	19,255,641	19,310,191	18,846,317	18,904,872
<b>EPS (1株当たり当期純利益、円)</b>	<b>34.99</b>	<b>55.04</b>	<b>41.96</b>	<b>70.54</b>	<b>68.58</b>	<b>136.45</b>
EPS増減率 (%)	117.5	57.3	-23.8	45.6	-2.8	+99.0
<b>ROA (総資産経常利益率、%)</b>	<b>42.3</b>	<b>44.1</b>	<b>29.0</b>	<b>32.9</b>	<b>24.3</b>	<b>36.2</b>
1株当たり純資産 (円)	108.7	182.4	213.5	207.2	263.4	389.0
1株当たり配当金額 (円)	0.00	10.61	10.00	12.50	12.50	27.00
中間配当額 (円)	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
配当総額 (百万円)	0.00	203	192	238	239	517
<b>配当性向 (%)</b>	<b>0</b>	<b>19.3</b>	<b>23.8</b>	<b>17.7</b>	<b>18.2</b>	<b>19.8</b>
株主資本比率 (%)	63.4	75.4	75.0	50.9	51.9	56.0
自己資本比率 (%)	63.4	75.4	75.1	50.9	51.9	56.0
<b>ROE (自己資本当期純利益率、%)</b>	<b>38.9</b>	<b>37.9</b>	<b>21.2</b>	<b>33.9</b>	<b>29.1</b>	<b>41.8</b>
<b>ROIC (=①÷②、%)</b>	<b>29.9</b>	<b>30.3</b>	<b>20.8</b>	<b>21.0</b>	<b>25.1</b>	<b>34.1</b>
①税引き後営業利益 (百万円)	626	1,059	859	1,178	1,539	2,729
②運転資本 (=③+④、百万円)	2,099	3,500	4,130	5,600	6,137	7,993
③株主資本 (百万円)	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971	7,361
④有利子負債 (百万円)	100	0	0	1,700	1,166	632

※当社は2011年10月27日に1:100、2012/06/01に1:3、2015/05/01に1:2の割合をもって株式分割を行っております。このため、上記にはFY2011の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの金額を算定しております。従いまして、上記には過去に当社が発表した決算書類と異なる数値が一部含まれます。

# 「みんなで幸せになれる会社にする事」

## 「今から100年続く会社にする事」



本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。